



「勉強会／パーソナルカラー」

旭川支部 川田 朱

「自分に似合う色は？」と聞かれても直ぐに答えるのは難しいですが、質問を「好きな色は？」に変えると簡単に思い浮かびます。でも、「好き＝似合う」ではないのかも…。

女性委員会旭川支部では、毎年新年度に女子力UPの勉強会が開催されます。今年、『パーソナルカラー（似合う色）』についてでした。

仕事で内外装をコーディネートする機会があるので、色についてはそれなりの知識はあるかなあと考えていたのですが、自分のこととなると、意外と無難にまとめてしまっていることが多いことに気が付きます。「好きな色＝似合う」とも思っていました。「どっちが似合う？」なんて、通いなれたお店もないし、このブランドのコンセプトには自分は対象外かも…と、意外にもネガティブトラップに陥りがちな性格なので、店員さんにも聞いたこともありませんでした。



勉強会では、前半、色のグループやイメージ等、基礎的なことを学びました。

後半は3名の会員がモデルとなって実際に数十枚のドレープと呼ばれる布を体に当てながら色が放つ光源についての変化を学びました。個性である肌や目、髪の色などの違いによって三者三様、同じドレープを当てても明るくなったりくすんでしまったりと、光源に影響を受けることがわかりました。

似合う色を身に付けることが、その人の良さが引き立ち、周りの人にも笑顔を与えることができることを実感しました。同時に私も機会を作って「パーソナルカラー」をみつけて毎日ワクワクできたらいいなあと心を動かされました。



勉強会の後は、講師を囲んでの食事会でした。おいしい料理に舌鼓、おなかも心も幸せに満たされました。特に印象的だったのが、食後のデザートプレート。

「色」について勉強したこともあり、旬の食材の個性を活かしたプチスイーツたちが、宝石のようにちりばめられていて、「おいしさ」の魅力を「色」が更に引き立てているように感じました。

幸せがいっぱい詰まった勉強会で益々女子力に磨きがかかった私たち、今年も一年間、元気に活動していきます!!

連載第2回(全4回)

ライフオーガナイザーについて

1級建築士・ライフオーガナイザー  
函館支部 岩崎 美乃

今回はレジデンシャルオーガナイザーについてです。

片づけられない原因には、住まいが関係している場合もあります。

例えば、「居間のクローゼットが奥行きが深くて使いにくい。」そのような場合、ここに何を収納するのが、設計する側に伝わってないことが考えられます。

建築を計画する段階で、「思考、行動、時間、空間、モノ」を住む人自身がコントロールし、心地よく、または効率よく過ごせるようにすることが重要なのですが、そのような様々な側面からサポートするのがレジデンシャルオーガナイザー（建築やインテリアの専門知識を持つライフオーガナイザー）なのです。

具体的には、施主様のしたい暮らしの明確化といったところでしょうか。

現状の住まいを俯瞰して、問題点や改善点を提案し、時間と行動の特性を把握します。収納についても持ち物の調査をして、その持ち物をどこにどのように収納するのが適切なかを分析、提案し、それをもとにプランニングやサポート等を行います。

施主様にとっても、自分を知り、自分と行動とモノの関係が理解できると、新しい住まいで「モノが散らかる」ことがおさえられ、快適な住まいを維持しやすくなります。

その結果、住宅への満足度も上がり、作り手の評価にも影響してくると考えられます。

今回は時間についてです。